様式第11号(第40条関係)

|  |
| --- |
| 年　　月　　日　　津山圏域消防組合　　　　消防長　　殿届出人住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　火災損害届(不動産・動産用) |
| 1 | り災日 | 　　　　　　　年　　　月　　　日　　 | 損害見積額 | 不動産　　　　　　円動産　　　　　　円 |
| 2 | り災場所及び対象名 | 岡山県 |
|  |
| り災物件と届出人の関係 | 1．所有者　2．管理者　3．占有者　4．その他(　　　　　　) |
| 3 | り災建物の構造・規模 | 構造 | 造葺壁(張) | 用途 |  |
| 階層 | 地上　　　階　　地下　　　階 | 延面積 | m2 |
| 4 | り災建物の経過 | 建築年月 | 　　　 年　　　 月 | 建築金額 | 円 |
| 購入年月 | 　　　 年　　　 月 | 購入金額 | 円 |
| 増改築年月 | 　　　 年　　　 月 | 増改築金額 | 円 |
| 増改築年月 | 　　　 年　　　 月 | 増改築金額 | 円 |
| 5 | 建物以外の不動産り災状況 | り災物件名 | り災種別 | 数量又は面積 | 取得又は建設年月・建設金額 |
|  | 焼損・水損・他 |  | 年　 　月　　　　円 |
|  | 焼損・水損・他 |  | 年　 　月　　　　円 |
| 6 | 火災保険の契約状況 | 保険会社名 | 契約区分 | 契約年月 | 保険金額 |
|  | 不動産・動産 | 年 　月  | 円 |
|  | 不動産・動産 | 年　　月 | 円 |
|  | 不動産・動産 | 年　　月 | 円 |
|  | 不動産・動産 | 年　　月 | 円 |

津山圏域消防組合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 7 | り災世帯員 | 氏名 | 続柄 | 生年月日・年齢 | 性別 |
|  |  | 　　 年　 　月　 　日生　　 歳 | 男・女 |
|  |  | 　　 年　　 月　　 日生　 　歳 | 男・女 |
|  |  | 　 　年　 　月　 　日生　　 歳 | 男・女 |
|  |  | 　 　年　 　月　 　日生　 　歳 | 男・女 |
|  |  |  　　 年　 　月　 　日生　 　歳 | 男・女 |
|  |  | 　 　 年　 　月　　 日生　 　歳 | 男・女 |
|  |  |  　 年　 月　 日生 　 歳 | 男・女 |
| 8 | 連絡先 | 住所　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　電話 |
| 　注意事項　1．この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。　2．この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。　3．この届出は、建物1棟ごと、又は所有者ごとに作成し、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。　4．この届出には、動産がり災した場合、「り災物件明細書」を添付してください。　記入要領　(4の欄) 1．建築購入金額は、り災した建物の総建築費又は総購入費を記入してください。　　　　　2．建物の用途欄は、住宅、店舗、倉庫、工場、物置、作業場等り災前に使用されていた用途を記入してください。　　　　　3．建物を建築又は購入してから、り災するまでの間に増・改築した場合は具体的に記入してください。　　　　　4．坪をm2であらわす場合は、3.3倍してください。　(5の欄) 1．り災した物件の欄は、塀の類、庭木の類、物干し台等り災した物件を記入してください。　　　　　2．り災種別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼損・水損その他の意味は、次のとおりです。　　　　　　(1)　焼損　焼けた物、熱で変質、変形した物等　　　　　　(2)　水損　消火のために、濡れた物、壊れた物、汚れた物等　　　　　　(3)　その他　煙で汚れた物、運び出すとき、避難するときに壊れた物等　(6の欄) 1．契約区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。　(7の欄) 1．世帯員である同居人も記入してください。　(8の欄) 1．今後の連絡先の住所、電話番号を記入してください。　備考　不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。　　　　　調査担当　　　　　　　　署・所　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号　　(　　　　　) |

津山圏域消防組合